



令和2年2月20日

大学院生各位
To All Graduate Students

令和元年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron

題目：モノクローナル抗体を用いたバイオ医薬品開発について
：島根大学発バイオベンチャーの取り組み

Title: 「Monoclonal antibodies: Progress, Pitfalls, Promise, and Prospect」

講師：浦野 健 教授
島根大学医学部 病態生化学講座
株式会社 mAbProtein ・代表取締役



Lecturer: (Takeshi Urano)
(Dept. of Biochemistry, Shimane University Schl. of Med.)
(Founder, CEO/CMSO, mAbProtein Co., Ltd)

日時：令和2年3月13日（金曜日）18時～19時30分

Time and Date: From 18:00～19:30, Fri, March 13, 2020

会場：基礎棟1階 会議室1

Room: Meeting room on the first floor of the basic building

Abstract

抗体医薬の特徴は、抗体分子そのものの特徴である、抗原分子に対する親和性の強さと特異性の高さが挙げられる。抗体は生体内に自然に存在する分子であり、さらに分子生物学の目覚ましい進歩に伴って分子改変技術を用いてヒト化も容易になった。また、ヒト抗体遺伝子導入マウスを免疫することで簡単にヒト抗体を入手することが可能な時代となった。

島根大学発バイオベンチャーである株式会社 mAbProtein (<https://mabprotein.co.jp/>) を平成30年3月に設立した。抗体医薬品開発に向けた我々の取り組みを紹介するとともに抗体医薬の展望について、また名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座（消化器内科学分野）との共同研究についてもご紹介したい。

言語：日本語 Language: Japanese

関係講座・部門の連絡担当者：分子細胞化学（生化学第二）岡島徹也 内線 2070
Contact: 2070, Department of Biochemistry II

事前の申込は不要です。 No Registration required.

医学部学務課大学院掛
Student Affairs Division, School of Medicine